

V 教育研究計画

1. 学校研究

(1) 研究主題

主体的に学び続ける子どもの育成 ～教師の見取りと支援の充実による授業づくり～

(2) 主題設定の理由

昨年度は主題を「主体的に学び続ける子どもの育成～子どもに委ねる算数の授業づくりを通して～」とし、教材研究を通して教師が数学的な見方・考え方を正しくとらえ、自立した学習者の育成を目指した。

昨年度の成果としては、

【教師】

○児童の目指す姿を明確にし、働かせたい数学的な見方・考え方を意識しながら単元計画を立てられるようになり、その中で、思考を促す発問や児童をつなぐコーナー・ネット力の必要性を再認識した。

【児童】

○児童が必要感をもって協働的に学ぶ姿が増え、振り返りでは自分の学びに対するメタ認知の高まりがみられた。

○学期末テスト 知識・技能…4学年で8割以上の児童が90点以上
…5学年で8割以上がB基準到達、

残り1学年においても1学期より到達率が42%上昇

一方課題としては、

【児童】

▲学期末テスト 思考力表現力判断力…5学年で80以上に到達していない児童が2割ほどこいいる。知識技能を活用して深く思考する力が、不十分である。

▲授業のふりかえりでは、友達に一方的に伝えることが多く、自他共に考えを広げ・深めるといった、質のある学び合いに至っていない。

【教師】

▲児童が見方・考え方に気づき必要感のある説明をするには、根拠を示して説明するには、教師側の見取りやコーナー・ネット力、問い返し、切り返しなど瞬時の判断力がさらには必要である。

そこで、今年度は研究主題を「主体的に学び続ける子どもの育成～教師の見取りと支援の充実による授業づくり～」とした。たくましくしなやかな自立した学習者の育成を目指して、教師は児童の状況をよく見取り、適切な手立てを講じていく。今年度も引き続き、数学的な見方・考え方の系統的な教材研究を大切にしていこうが、その際、児童の目指す姿と現在の姿との差を把握したうえで、どのようにゴールに到達させるか考え、単元を計画していく。授業においては、児童が主体的な学習者として個別と協働による課題解決が行えるようにするために①見方・考え方を働かせながら、資質・能力を確実に身につけられる授業改善及び授業力のさらなる向上②児童が図・式・言葉を行き来しつつ根拠を示して表現する力がつくよう教師の支援に努めていきたい。

こうしたことに取り組み、子どもの学びを支援する伴走者として、教師自身が協働的に学び続け、児童と共に成長していきたい。

(3) 研究の内容

<深い教材研究>

1. 働かせたい見方・考え方を明らかにする
 - ・学習指導要領を読解して学術的な見方・考え方を理解し、児童につけたい力を明確にする。
 - ・目指す具体の姿から、適切な評価問題を設定する
2. 見方・考え方を働かせる単元づくり
 - ・児童の実態を把握し、目指す姿との差から手立てを講じる(レディネステストの活用等)
 - ・児童の思考の流れを想定した単元づくりを行う。
C→B、B→Aとなるよう、個に応じた見取り・支援
 - ・「知識・技能」を生かす「思考・判断・表現」の授業の位置づけ
 - ・見方・考え方に気付かせる発問の準備
 - ・教師の見取り・支援の仕方の吟味と精選
3. 教材研究の時間確保
 - ・学びタイム等の活用

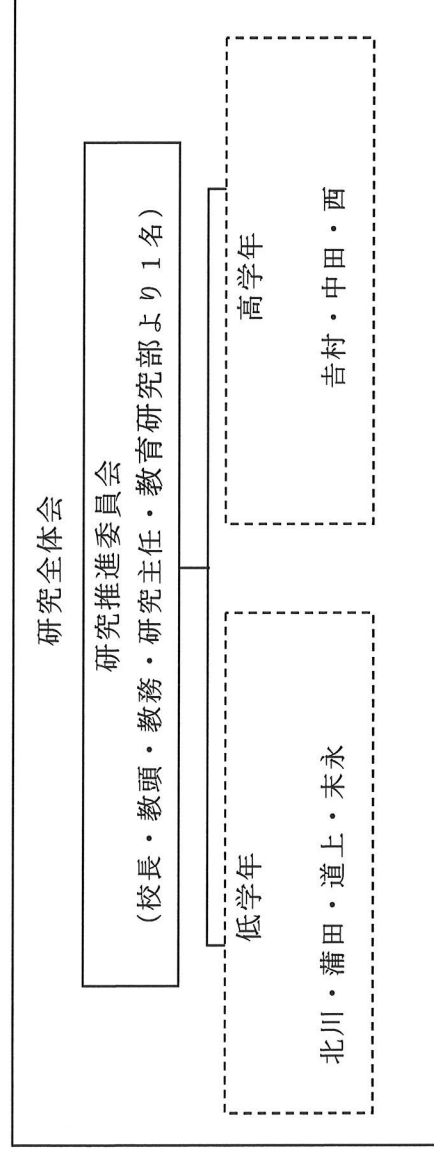
<根拠を示して表現する力>

- 学術的な活動の重視
言葉や図、数、式、表、グラフなどを適切に用いて、分かることや思考の過程、判断の根拠などを的確に表現する。
- 学習形態の工夫
アウトプットの場面を設定する
 - ・ペア、グループ学習で
 - ・全体で
↓
自分で学習形態を選択できる子に
- 板書の工夫
 - ・思考の流れがわかる板書
 - ・違いを比較できる板書
- ★児童の技能
 - ・「学びの花」の活用により、思考を促す理由づける・順序だてる・比較する・具体化する・要約する・応用する
- ・絵や図に表す指導
 - 図、10や100のまとまり、かけ算やわり算の場面絵、テープ図、数直線図、線分図、関係図、液量図…

(4) 研究方法

ア 研究組織

- ・ 研究推進委員会は、校長、教頭、教務主任、研究主任、教育研究部より1名とする。



イ 研究の進め方

- 授業実践により、指導力向上を図る。
 - ・ 主事訪問時は、全体研究授業および授業整理会を実施する。
 - ・ 全体研究授業以外の学年は、学期に1回、単元全体による授業交流を行う。
- 単元終了後、検証を行い、共有する。
- 外部講師や指導主事を積極的に活用し、指導の向上をめざして授業改善に取り組む。
 - 計画的に先進校視察や他校の研究会などに参加し、研修報告会で成果を還元し校内研究に生かす。

全体研究授業

- ・ 計画訪問および要請訪問で実施する。
- ・ 単元計画→模擬授業→指導案検討

単元全体による授業交流（単元を公開し参観）

- ・ 全体研究授業を行わなかった学年が実施する。
- ・ 単元計画配布→単元公開→検証報告（研究会全体にて）

ウ 検証方法

- ・ 重点単元の評価問題
- ・ 学期末テスト
- ・ 単元末の振り返り